

# 施設営繕担当部 施設営繕第二課 設備

小山 弘和

(機械職 H25年度入庁)

## 設備の仕事について

庁舎や学校等、公共施設の**新築・増改築・大規模改修**について、**設計・積算**や、**工事の進行管理**等を行っています。

一つの建物に対し**建築・電気・機械**の担当者がおり、私は**機械**の担当者として“**給排水衛生設備**”“**空気調和設備**”を担当しています。それぞれの担当者間の**チームワーク**が大切な職場です。

設計では、建物の**平面プラン**を決定する段階から携わり、設備の“**システム**”を決定し、**ポンプ**や**ファン**の選定、最後には**配管の材質・口径**や、**エアコンのリモコン**の位置等々...細かい部分まで決めていきます。

限られた**工期・予算**の中で、より良い施設を建設できるように心掛けています。



天井の中には空気調和機器やダクト・配管が入っています。



工事の積算も大切な仕事です。  
図面から、工事で使う材料の量を計ります。

## 仕事とやりがい

建築設備は近年、**高度化・複雑化**が進み、**安全性**や**信頼性**、**快適性**に加え、**省エネ**、**維持管理**の容易さや、**災害時の事業継続**等々...ニーズは目まぐるしいほど拡大しており、**技術職の職員の“役割”**と“**責任**”はますます大きくなっています。

公共施設は、誰もが使える**地域のための施設**であるため、上記ニーズを満たし、かつ**無駄の無いもの**が求められます。また、**大災害時には避難所**として使われる施設もあれば、**物資や情報、救助**等の拠点となる施設もあります。

配管やポンプ、空気調和機器等は、その多くが**普段目に付かない部分**にあります。しかし、それら設備が**機能しないと非常に使いづらい建物**になってしまいます。建物が出来上がった後、**区民の皆様**に**快適に使って頂くことが出来たときは**、そのために設備について色々考えて、調整してきた良かったなと思います。

